

# データヘルス計画（第2期）

## 年次報告書

---

[ 令和4年度 ]

最終更新日：令和 5 年 06 月 20 日

日本情報機器健康保険組合

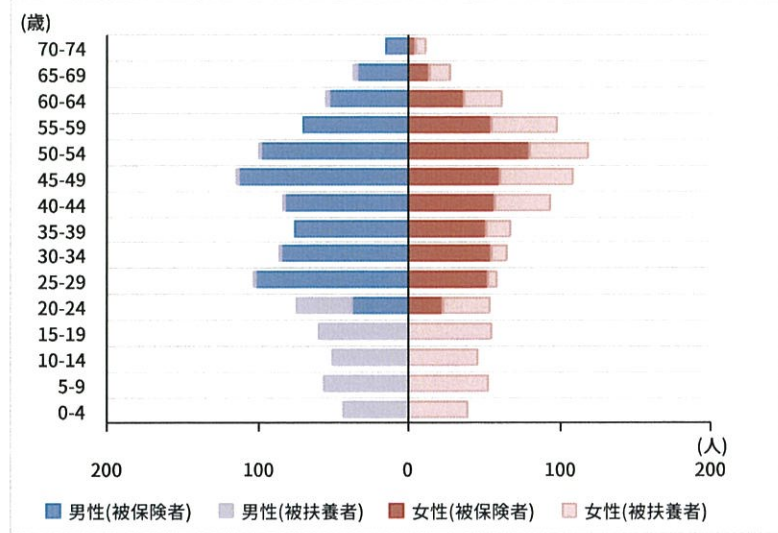
## STEP 1-1 基本情報

組合コード	27502		
組合名称	日本情報機器健康保険組合		
形態	単一		
業種	卸売業		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数	1,273名	1,313名	-名
* 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	男性61.5% (平均年齢43.4歳) * 女性38.5% (平均年齢43.7歳) *	男性60.5% (平均年齢43.7歳) * 女性39.5% (平均年齢44.9歳) *	男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保 険者数	0名	0名	-名
加入者数	1,965名	2,048名	-名
適用事業所数	12ヵ所	11ヵ所	-ヵ所
対象となる拠 点 数	1ヵ所	1ヵ所	-ヵ所
保険料率 *調整を含む	95%o	95%o	-%o

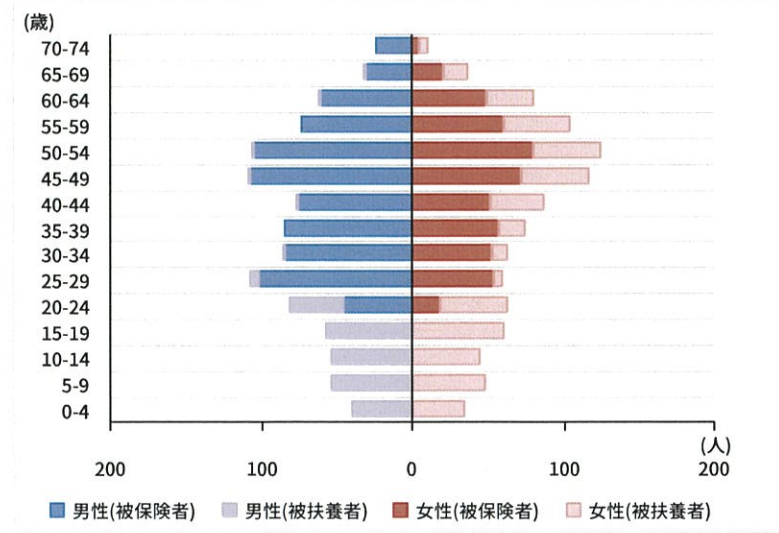
		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	0	0	-	-
	保健師等	0	0	0	0	-	-
事業主	産業医	0	0	0	0	-	-
	保健師等	0	0	0	0	-	-
		第2期における基礎数値 (平成28年度の実績値)					
特定健康診査実施率		全体				- / - = - %	
(特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)		被保険者				- / - = - %	
		被扶養者				- / - = - %	
特定保健指導実施率		全体				- / - = - %	
(特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)		被保険者				- / - = - %	
		被扶養者				- / - = - %	

		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	6,731	5,288	7,164	5,456	-	-
	特定保健指導事業費	1,748	1,373	1,748	1,331	-	-
	保健指導宣伝費	2,917	2,291	2,905	2,212	-	-
	疾病予防費	43,124	33,876	46,171	35,165	-	-
	体育奨励費	1,149	903	1,207	919	-	-
	直営保養所費	0	0	0	0	-	-
	その他	1,684	1,323	2,396	1,825	-	-
	小計 …a	57,353	45,053	61,591	46,909	0	-
経常支出合計 …b	653,997	513,745	677,680	516,131	-	-	
a/b×100 (%)	8.77		9.09		-		

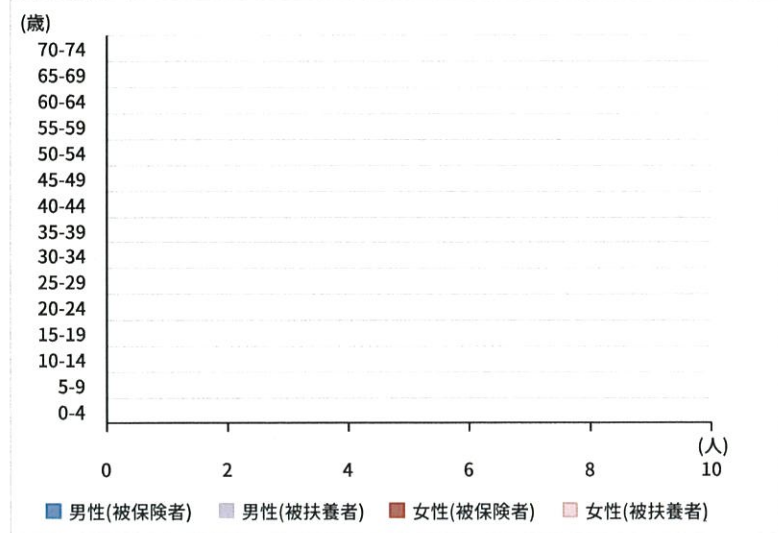
令和3年度



令和4年度



令和5年度



## 男性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	38人	25～29	102人	20～24	46人	25～29	102人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	85人	35～39	75人	30～34	85人	35～39	85人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	82人	45～49	113人	40～44	75人	45～49	107人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	98人	55～59	70人	50～54	105人	55～59	73人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	53人	65～69	34人	60～64	61人	65～69	31人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	15人			70～74	24人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	23人	25～29	52人	20～24	18人	25～29	54人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	55人	35～39	51人	30～34	53人	35～39	57人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	57人	45～49	61人	40～44	51人	45～49	72人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	80人	55～59	55人	50～54	80人	55～59	61人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	37人	65～69	14人	60～64	49人	65～69	20人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	4人			70～74	4人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	43人	5～9	56人	0～4	40人	5～9	54人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	50人	15～19	59人	10～14	54人	15～19	57人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	37人	25～29	1人	20～24	35人	25～29	6人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1人	35～39	0人	30～34	1人	35～39	0人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	1人	40～44	1人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	0人	50～54	1人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	2人	65～69	2人	60～64	1人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	0人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	39人	5～9	52人	0～4	34人	5～9	48人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	46人	15～19	55人	10～14	44人	15～19	61人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	31人	25～29	6人	20～24	44人	25～29	6人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	10人	35～39	16人	30～34	10人	35～39	17人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	36人	45～49	48人	40～44	35人	45～49	44人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	39人	55～59	43人	50～54	44人	55～59	43人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	25人	65～69	14人	60～64	31人	65～69	16人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	7人			70～74	6人			70～74	-人		

### 基本情報から見える特徴

- 小規模な健康保険組合（被保険者1,313名、加入者数2,048名）である。
- 被保険者の男性の構成割合が高い（60.5%）。
- 平均年齢が高めである（男43.7歳、女44.9歳）。
- 適用事業所が11か所あり、事業主の拠点が点在している。
- 当健康保険組合には、医療専門職が不在。

## STEP 1-2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

- 特定健診における被保険者の実施率は92.0%、被扶養者の実施率は71.1%、全体実施率は87.4%である。健康保険組合（全体）の単一健保平均実施率と比較して実施率は高い。
- 特定保健指導における実施率は11.1%であり、健康保険組合（全体）の単一健保平均実施率と比較し実施率は低い。特に被扶養者の実施率の0%が顕著である。
- 保健事業費の約8割が疾病予防に充てられている。
- 歯科健診の実施率は、23.3%で実施率の伸びはないが、歯科医療費が保険給付費に占める割合は25.2%程度で、口腔歯科検診の多少の効果はあると思われる。
- 組合の規模としてできる最大限の事業を展開している。
- 機関紙や育児図書、家庭向け健康情報誌等の配布を行っているが、読者の意見や感想など満足度を完璧に把握しきれていない。
- ウォーキングキャンペーンを実施しているが、参加者が限定的である。
- 健康の保持増進とリフレッシュのために通年利用可能な契約保養所利用補助金と夏期限定の海・山の家補助金を実施しているが、予算の消化率が低い。
- 健康保険組合が実施している保健事業は、組合単独で実施しており、事業所とのコラボによる事業は無い。従って、事業所の取り組みについては、組合が実施する事業の社員への周知と、申込み等の中継ぎを行う程度であり、事業所の取り組みについて特に記載すべき事業が無い。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	医療費通知
<b>個別の事業</b>	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	機関紙の発行
保健指導宣伝	保険制度等に関するパンフレット
保健指導宣伝	育児図書
保健指導宣伝	家庭向け健康誌の配布
保健指導宣伝	ホームページ
疾病予防	主婦健診
疾病予防	成人病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	口腔歯科健診
疾病予防	健康電話相談
疾病予防	心の相談ネットワーク
疾病予防	感染症予防
体育奨励	海の家・山の家
体育奨励	ウォーキング
その他	契約保養所

#### 事業主の取組

1	その他
---	-----

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	2	医療費通知	【目的】医療費の確認、コスト意識の啓発 【概要】医療費を年4回、医療機関毎に受診者別に通知書の中で区分して通知（ジェネリックの通知は年2回通知）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	87	○「医療費のお知らせと保険給付金支給決定通知」を年4回実施。毎回それぞれの家族全員分を通知書の中で受診者毎に、医療機関名・診療実日数・総医療費・保険給付額・本人負担額・付加金額等を記載し通知。 ○「ジェネリック医薬品利用促進のお知らせ」を年2回（各回、3ヶ月間のデータを収載）実施。3ヶ月間で1000円以上の医療費削減効果が見込まれる場合を想定して該当者を抽出し、処方された薬剤の内ジェネリックに替えることが可能と思われる薬剤を併記し、削減可能であった金額も掲載して通知。	医療費に対するコスト意識の啓発啓蒙に寄与。	健康の保持増進に対する意識変革や行動変容に繋がりが、なおかつ医療費全体の削減にも効果が出るような工夫が必要。	4
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健康診査	【目的】メタボリックシンドローム予防のため実施し、メタボリックシンドローム予備軍や該当者を抽出する 【概要】40歳以上44歳までの被保険者は、成人病健診として実施。45歳以上75歳未満の被保険者は人間ドックとして実施。40歳以上75歳未満の被扶養者の内、配偶者は主婦健診、配偶者以外の被扶養者は成人病健診として実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	全員	5,636	被保険者の受診率は約92%、被扶養者は約71.1%であった。全体では約87.4%となっており、特定健康診査の第3期の年度目標値には約1.7%及ばなかった。 【令和3年度実績】 ○被保険者 受診対象者数：721名 受診者数：663名 受診率：92.0% ○被扶養者 受診対象者数：204名 受診者数：145名 受診率：71.1% ○被保険者・被扶養者合計 受診対象者数：925名 受診者数：808名 受診率：87.4%	○ 従来実施している健診が特定健診項目をすべて含んでいることから、従来の健診の受診促進を図ることにより、特定健診の受診率の向上を目指した。また、事業所の実施する法定健診のデータも活用した。 ○ 被保険者については、事業所の担当者との連携を的確に行い、健診該当者リストを担当者に委ねることにより、健診実施についての周知が円滑に行われている。健診受診の申し込みは、90%を超えている。また当組合が直接契約した健診機関で、自己負担なしで受診できる体制を組んでいる。 ○ 被扶養者については、直接本人宛に健診実施案内を送達している。また、受診動向を考慮し、主要都市に直接契約健診機関を設け、自己負担なしで9月から12月までの4ヶ月間受診できる体制を組んでいる。 ○健診代行機関を活用し未受診者対策を実施した。	特定保健指導の実施時期との調整が必要のため、通年での健診実施が難しく、限定期間での実施となるため、業務の関係で設定期間中に受診できなかった場合、未受診となる可能性がある。ことに、被扶養者については、健診に無関心な者もあり、事業所からの押し出しも出来ないため、受診しない者は常に受診しない状況となっている。近年、パート契約での加入者の未受診者が増加するなどこの加入者達の対応を検討する必要がある。また、事業所の対応にも温度差があり、今後はその解消に向けて対応する必要がある。	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】メタボリックの予防・改善 【概要】指導機関より直接本人にアプローチして実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	基準該 当者	885	当組合では、直接契約している健診機 関で特定保健指導を実施している。 【令和3年度実績】 ○積極的支援 ●被保険者 指導対象者数：91名 指導終了者数：12名 実施率：13.2% ●被扶養者 指導対象者数：3名 指導終了者数：0名 実施率：0% ○動機付け支援 ●被保険者 指導対象者数：52名 指導終了者数：5名 実施率：9.6% ●被扶養者 指導対象者数：7名 指導終了者数：0名 実施率：0% ○指導合計（被保険者・被扶養者合計 ） ●積極的支援 指導対象者数：94名 指導終了者数：12名 実施率：12.8% ●動機付け支援 指導対象者数：59名 指導終了者数：5名 実施率：8.5% ○指導実施率合計：11.1%	指導担当保健師が指導対象者に対し積 極的にアプローチした健診機関での受 診率は、そうでなかった健診機関と比 較して大幅に高かった。また、通常の 指導プログラムに付加価値を付けるた め、活動量計を用いて指導を行った。 更に、事業所の人事労務担当者や上長 からの声掛けや押し出し等の協力を得 た。	今年度は、保健指導機関の温度差があ り、実施率の低下につながってしまっ た。また、被扶養者の保健指導への意 識変革を行う工夫が必要である。近年 、パート契約での加入者の未実施が増 加しているなど受診率の低下の要因と なっている。また、事業所の対応にも 温度差があり、今後の対応について検 討が必要である。	2
	2	機関紙の発行	【目的】健康情報及び当組合の諸情報の発信、健康意識の 啓発・醸成 【概要】「健保だより」として当組合の予算・決算及び事 業概況を掲載。また、健康の保持増進につながる情報を掲載	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	543	○年2回発行（4月、9月） ○事業所経由で配付	健保組合の財政及び事業の周知に寄与 。	健康保険組合の状況を伝える情報誌と しての役割に鑑みて、今以上に読ませ る工夫が必要。	4
	2	保険制度等に関するパンフ レット	【目的】健康保険制度やその改正等について周知する。 【概要】健康保険法や医療制度等の情報誌を配布。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	58	新規採用用者の社会保険に関する情報 誌「社会保険の知識」を配布。 配布方法は、事業所経由で行う。	入社時における基礎情報の提供に寄与 。	紙ベースでの広報がベストか、ホーム ページを活用しての広報が効果的か、 現在状況を確認中。被保険者及び被扶 養者双方に読んでもらえる方法の選択 が必要。	3
	2	育児図書	【目的】育児支援 【概要】出産した被保険者・被扶養者に対し、育児に役立 つ情報を掲載した月刊情報誌「月刊赤ちゃんとママ」と「1 23歳」「お医者さんにかかるまで」を1年間配付	被保険者 被扶養者	全て	女性	16 ～ 50	基準該 当者	11	「月刊赤ちゃんとママ」「123歳」「お 医者さんにかかるまで」を第1子出産の 被保険者または被扶養者に1年間自宅へ 配付する。 【令和4年度実績】 配付実数：3名	ゼロ歳児から離乳するまでと、幼稚園 等にあがる直前までの期間を出産直後 から子供の成長に合わせて情報を提供 する方法を採用。乳幼児期の育児の不 安解消に寄与。	配付冊子の満足度については、赤ちゃ んとママ社より年1回以上、読者の声と して報告を受けており、おおむね好評 である。	5
2	家庭向け健康 誌の配布	【目的】家族向けに健康情報や医療情報を提供 【概要】「すこやかファミリー」誌を隔月で直接自宅に配 付し、被保険者のバックボーンとなる家族の健康意識の啓 発啓蒙や日常的に役に立つ医療情報等を提供	被扶養者	全て	男女	16 ～ 74	基準該 当者	309	○配付冊子：すこやかファミリー ○年6回奇数月に配付。 ○配付対象は被扶養配偶者。 【令和4年度実績】 月平均：212部	家族に対する健康意識や医療に対する 適切な知識等を提供することに寄与。 ○配付対象は被扶養配偶者。 家庭に直接送付していることも効果的 である。	配布冊子に掲載されている記事の内容 については、今後読者の感想等を募り 、改善の余地の有無について検討する ことも必要。	4	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	2	ホームページ	【目的】健康・医療・保険制度全般にわたり広報・周知を図る。また、当組合のしくみや事業全般にわたる情報の周知 【概要】健康・医療等の情報コンテンツを常時閲覧できる体制を確保。加入者の利便性を図るため、医療保険制度の解説や、当組合の実施している制度や事業等を掲載し、リアルタイムで活用できる体制を確保。届出及び申請関係の書式も掲載	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	732	医療情報コンテンツ、健康関連コンテンツ、育児関連コンテンツ、当組合の基本情報、当組合の実施事業情報等を毎年継続して掲載し、加入者がリアルタイムで閲覧・活用出来る態勢を確保。ただし、直接的に個人情報等を掲載することはないが、外部からの侵入閲覧を防ぐため閉鎖型のホームページとなっている。閲覧にはパスワードの入力が必要。	基本情報の広報・周知に寄与。	ホームページを介して、組合と加入者間での双方向からの情報伝達が可能なしくみにするか否か今後検討が必要。また、ホームページへのアクセスを促進するための工夫も必要。	4
疾病予防	3	主婦健診	【目的】健康管理、疾病予防 【概要】被扶養配偶者（女性）の健康診査の実施	被扶養者	全て	女性	35 ～ 74	全員	4,490	35歳以上75歳未満の被扶養配偶者（女性）を対象に、当組合が直接契約する健診機関にてがん健診も含めて実施。費用は全額当組合で負担し、受診者の負担は無い。また、二次健診（精密検査・再検査）及び経過観察に係る費用も全額組合負担で実施。 【令和4年度実績】 受診対象者：228名 受診者：166名 受診率：72.8%	施設健診スタイルで実施しており、主要都市に直接契約健診機関を設け、自己負担なしで実施。受診対象者には、直接本人宛自宅へ健診実施案内と申込用紙を送付。受診期間を毎年9月から12月までの4ヶ月間設定し、この期間中で都合の良い日にちをあらかじめ予約したうえで受診する。健診実施案内の自宅送付と受診可能期間（4ヶ月間）が効果をあげる要因となっている。本年度も健診代行機関を活用し未受診者対策を行った。	高受診率ではあるが、特定健康診査も兼ねていることから、受診率の向上を図るための工夫が必要。	4
	3	成人病健診	【目的】健康管理、疾病予防 【概要】被保険者を対象として、がん健診も含めて実施	被保険者	全て	男女	30 ～ 44	全員	7,760	30歳以上45歳未満の被保険者を対象に、がん健診も含めて実施。健診費用は当組合が全額負担し、本人負担は無い。なお、二次健診（精密検査・再検査）及び経過観察に係る費用も全額組合負担で実施。 【令和4年度実績】 受診対象者数：385名 受診者数：318名 受診率：82.6%	施設健診スタイルで実施しており、主要都市に直接契約健診機関を設け、自己負担なしで実施。健康診査実施の周知及び受診申込みは事業所の担当者を介して行い、健診実施期間についても、毎年9月～12月の間で、実施している。各事業所の担当者の積極的な協力が重要。	事業所の実施する法定健診とは、別に組合独自に実施しているため、健診実施期間に制約がある。更に、一部対象者は特定健康診査も兼ねているため、健診実施後の特定保健指導の実施のタイミングも図らねばならないため、健診実施期間の長期設定が難しい。また、パート契約の加入者が増加したことによる影響が色濃く出ており、この者達を含めて受診率を引き上げるための工夫が必要。	4
	3	人間ドック	【目的】健康管理、疾病予防 【概要】被保険者を対象として、総合的な健診を実施	被保険者	全て	男女	45 ～ 74	全員	26,497	45歳以上75歳未満の被保険者を対象に、総合的な健診を実施。本人負担は無い。なお、二次健診（精密検査・再検査）及び経過観察に係る費用も全額組合負担で実施。 【令和4年度実績】 受診対象者数：649名 受診者数：612名 受診率：94.3%	施設健診スタイルで実施しており、主要都市に直接契約健診機関を設け、自己負担なしで実施。健診実施の周知及び受診申込みは事業所の担当者を介して行い、健診実施期間についても、毎年9月～12月の4ヶ月間実施している。各事業所の担当者の積極的な協力が重要。	事業所の実施する法定健診とは別に、組合独自で実施しているため、健診実施期間に制約がある。更に、人間ドック対象者は特定健康診査も兼ねているため、健診実施後の特定保健指導の実施のタイミングも図らねばならないため、健診実施期間の長期設定が難しい。受診率引き上げのためにはひと工夫必要。	4
	3	口腔歯科健診	【目的】健康管理、疾病予防 【概要】被保険者を対象に、口腔及び歯の健診の実施	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	1,496	全被保険者を対象に口腔歯科健診を実施。簡単な歯石除去と口腔内の衛生管理や歯のブラッシング指導も併せて実施。健診費用は全額組合で負担し、受診者の負担は無い。 【令和4年度実績】 受診対象者数：1,302名 受診者数：303名 受診率：23.3%	歯科医療費が保険給付費に占める割合は、令和4年度実績で25.2%程度であり、口腔歯科健診の効果は多少なりと出ている。健診の形態としては、東京エリアは巡回による集団検診方式を取っているが、地方の事業所については、開業医との契約により施設健診のスタイルで実施。	口腔歯科健診の場合は、一般健診と異なり、歯科受診中の者はほとんど健診を受診しないため、受診率が大きく伸びる可能性は少ない。地方にある事業所は比較的受診率が高いが、大都市部の受診率は低目の傾向があるので、大都市部での受診率向上に工夫が必要。また、パート契約の加入者の増加が受診率の減少を引き起こしており、その対応に工夫が必要。	3



予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	6	健康電話相談	【目的】健康管理、疾病予防に関する相談及び医療・健康情報の提供 【概要】保健同人社の電話健康相談を契約して実施。健康問題の相談や医療情報の提供を利用料負担なしで実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ (上限なし)	全員	0	通年で利用可。利用者には一切利用制限を設けていない。 【令和4年度実績】 利用者数：2件	利用者が、直接カウンセラー・ドクター・相談員と電話にて匿名で相談ができ、個人情報は一切漏れないように管理されている。年度により利用者数が増減するが、直接専門職と相談できる窓口を常時設けておけることにメリットがある。事業費はホームページ費用に含む。	情報化が進み、加入者自身が情報過多になっている現状で、適切な情報を適切なタイミングで利用者のニーズに合わせて提供できるプログラムであることから、更に周知を行い利用促進を図る。	2
	6	心の相談ネットワーク	【目的】健康管理、疾病予防対策の一環として、メンタルヘルスの相談及びカウンセリングの実施 【概要】保健同人社の心の相談ネットワークを契約して実施。電話によるメンタルヘルスの相談及び必要に応じて面談カウンセリングや専門医療機関の紹介を行う。一部利用者負担あり	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ (上限なし)	全員	0	保健同人社の「みんなの家庭の医学」を利用し、被保険者及び被扶養者全員を対象に実施。電話による相談からスタートし、カウンセラー・ドクター等の判断により面談・カウンセリング・専門医療機関紹介と進む。 【令和4年度実績】 相談者数：3名 面談者数：2名	利用者に気軽に利用してもらうため電話での相談は無料、面談に移行した場合は、面談2回まで無料。3回目～5回目までは1回につき1,000円を利用者に負担させる。5回を限度としてカウンセリングを行い、それ以降は専門医療機関を紹介し、受診を勧める。メンタルヘルス対策に寄与。事業費はホームページ費用に含む。	事業所に対し法定健診でのメンタルチェックが義務付けられたことに伴い、健康保険組合の対応としては、「みんなの家庭の医学」の有効利用を促進することにより、事業所でのメンタル対応へのサポート事業として、また、健康保険組合が目的としている健康の保持増進と疾病予防に効果が期待できるが、メンタル疾病特有の傾向性として、患者とその周囲を含めて取り扱いに苦慮する部分が多いため、いかに相談・カウンセリングへと誘うかその方法を工夫する必要がある。	4
	3	感染症予防	【目的】インフルエンザ予防のためのワクチン接種 【概要】希望者に対しインフルエンザワクチンの予防接種を実施	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	690	被保険者全員を対象に、希望する者にインフルエンザ予防のためのワクチン接種を実施。利用券を希望者に交付し、当組合指定の医療機関で実施。費用の一部を利用者が負担する形式をとった。 【令和4年度実績】 ワクチン接種実施者数：261名	当組合指定医療機関が設定するインフルエンザワクチン接種料金内、2,000円相当を組合が負担し、差額分を利用者が負担する形で実施。インフルエンザ予防に寄与。利用者は毎年増加している。	インフルエンザワクチン接種を受けられる当組合指定医療機関が限定されていたこと、対象者が被保険者に限定されていたことから、被保険者全体の19.8%程度の利用であった。また、今年度はワクチンの不足も影響した。今後、家族も含めて実施が可能か否か検討を要する。	3
体育奨励	8	海の家・山の家	【目的】健康の保持増進 【概要】夏季期間限定で、保養、健康増進のため、一般の保養施設を利用した場合に利用補助金を支給	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	245	毎年7月15日から8月31日の間に、保養、健康増進等の目的で一般の保養施設を利用した場合に、利用した被保険者及び被扶養者共に1人1回につき2,000円を限度として、期間中2回まで請求に基づき補助金を支給する。 【令和4年度実績】 被保険者：52名 被扶養者：78名 合計 130名	夏場の健康の保持増進・リフレッシュ等に寄与。	少子高齢化の傾向が見られ、子供連れの利用が減少する中、中高年の利用が増加する傾向が見られる。利用者のニーズ対応にひと工夫必要。	3
	5,8	ウォーキング	【目的】健康の保持増進、疾病予防 【概要】被保険者及び配偶者を対象に年間を通してウォーキングを実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	472	被保険者と被扶養者を対象に、参加希望者はリソルライフサポート㈱が提供するプログラム「ヘルスプロモーション・プラス」に登録し、スマートホンを活用して、1月より通年でウォーキングを実施。参加者にはライフサポート倶楽部のサイトから健康情報等の閲覧が可能になる。 【令和4年度実績】 ウォーキング年間参加者数：660名	ウォーキングデータの管理が、歩数計を使用することなく手持ちのスマートホンで行え、情報管理もネットでNTTD ATAのアプリ「クリエイティブヘルスN EXT」を活用して行えるリソルライフサポート㈱の「ヘルスプロモーション・プラス」を導入。単に歩数の管理をプログラムではなく、血圧や体重など健康・健診データを登録することにより、長期的に健康管理支援が可能となる。また、同時に参加している者との自己比較もできることから、メタボ解消や運動不足の解消等に寄与。データ管理及びプログラム使用料は当組合が全額負担し、参加者は無償で参加できる。	参加者数は年毎に増減があり一定ではないが、毎年継続して参加する者が増加している。今後の課題としては、利便性を考慮して手持ちのスマートホンが活用でき、別途歩数系等が必要ない企画を導入したものの、最近の傾向として、オフィスへのスマートホンの持込が禁止されているなど、スマートホンを活用する環境が変化しつつあり、参加登録が伸び悩んでいる。参加促進を図るため、歩数計の再導入を必要とする。	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
その他	8	契約保養所	【目的】健康の保持増進、保養、リフレッシュ 【概要】全加入者を対象に、当組合が指定する保養施設等に、健康の保持増進、保養、リフレッシュを目的として宿泊した場合、年2回まで利用補助金を支給	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	1,357	被保険者及び被扶養者を対象に、当組合が指定する保養施設（JTB協定施設、休暇村、国民宿舎、社会保険関係の保養所、当組合直接契約施設、健保連契約施設等）を健康の保持増進、保養、リフレッシュ等を目的として宿泊利用した場合、通年で年2回（2泊）まで1回（1泊）4,000円を限度として利用人数に応じて補助金を支給。 【令和4年度実績】 被保険者利用数：207名 被扶養者利用数：193名 合計：400名	契約保養所補助金制度は、加入者に浸透しており利用は例年ほぼ安定している。ただし、近年、社員旅行のような大規模な利用が下火となっているため、本来の家族を中心とした利用に変わってきており、健康の保持増進や保養、リフレッシュといった目的寄与。	巷間の景気や、社業の状況等により、利用率に影響が出る。コンスタントに制度を活用してもらえような広報の工夫が必要。昨年度は新型コロナウイルス感染症の関係で利用者は半数ほどになったが、今年度は例年並みに戻りつつある。	4



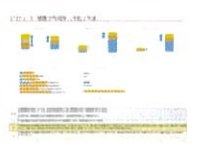


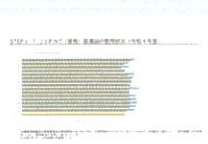
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
その他		-	-	~				-

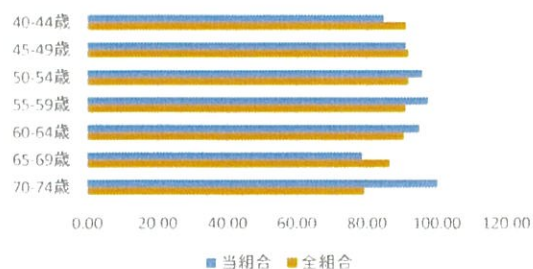
## STEP 1-3 基本分析

### 登録済みファイル一覧

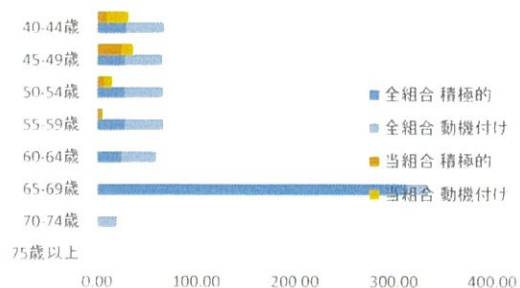
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健診・保健指導実施状況等（令和3年度）	特定健診分析	-
イ		一人当たり医療費（令和3年度）	医療費・患者数分析	-
ウ		健康分布図等（令和3年度）	特定保健指導分析	-
エ		医療機関の受診状況（令和3年度）	健康リスク分析	-
オ		医療機関の受診状況（令和3年度）	健康リスク分析	-
カ		ジェネリック（後発）医薬品の使用状況（令和4年度）	後発医薬品分析	-

## STEP 1 -3 特定健診・特定保健指導実施状況（令和3年度）

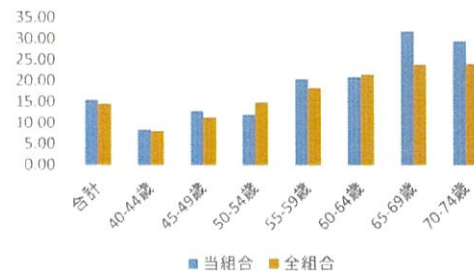
ア. 特定健診実施率（被保険者）



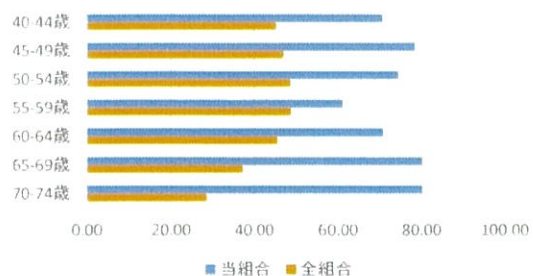
ウ. 特定保健指導実施率（被保険者）



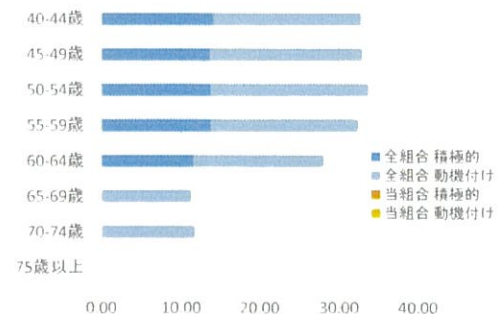
オ. メタボリックシンドローム該当者の割合



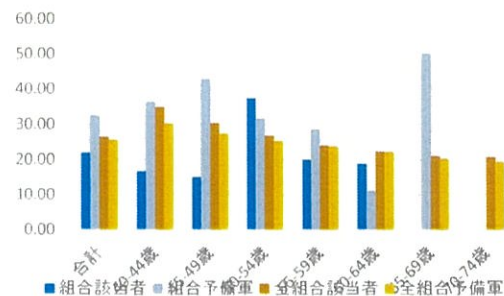
イ. 特定健診実施率（被扶養者）



エ. 特定保健指導実施率（被扶養者）



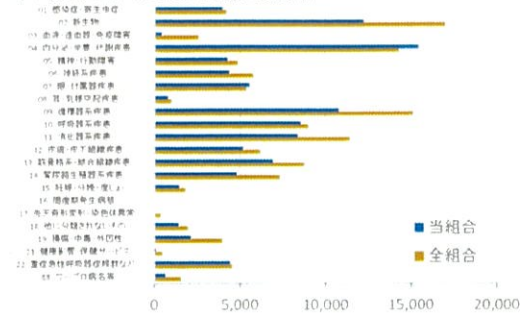
カ. メタボリックシンドローム該当者・予備軍の減少率



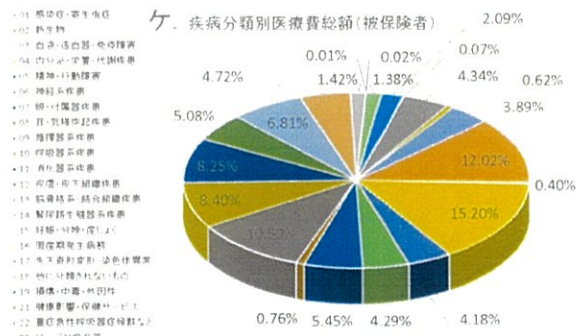
ア.	○被保険者の特定健診実施率は92.0%で、他健保組合と比較してもほぼ同様の実施率となっている。
イ.	○被扶養者の特定健診実施率は71.1%で、他健保組合と比較し、すべての年齢層において受診率は非常に高い。要因としては、直接本人宛に健診実施案内を送付。また、主要都市に直接契約健診機関を設け、自己負担なしで9月～12月までの4ヶ月間受診できる体制を組んでいることにあると考えられる。
ウ、エ	○被保険者の特定保健指導の実施率は11.9%で、他健保組合と比較して今年度は実施率が低くなっている。 ○被扶養者の特定保健指導については、指導該当者全員を対象として実施しているが、実施率は0%である。
オ、カ	○メタボ該当者の減少率は、他健保組合と比較して全体的に高くなっている。 ○メタボ予備軍の減少率は、他健保組合と比較して全体的に高くなっている。

# STEP 1 - 4 一人当たり医療費 (令和3年度)

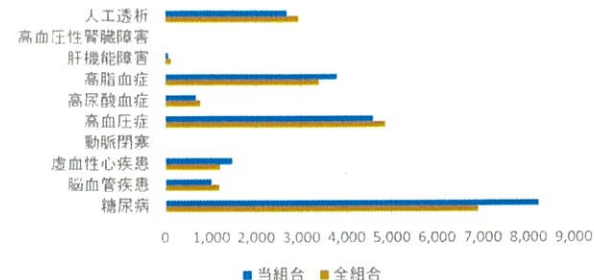
キ 疾病分類別一人当たりの医療費(被保険者)



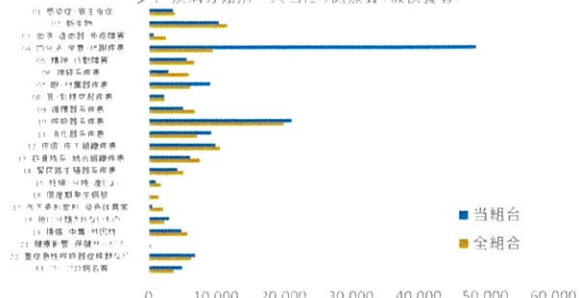
ケ 疾病分類別医療費総額(被保険者)



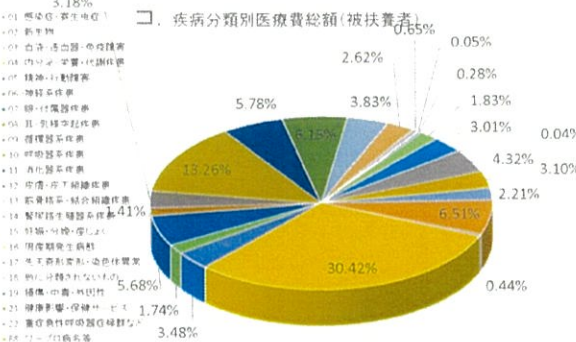
サ 生活習慣病に関わる疾病の1人当たり医療費(被保険者)



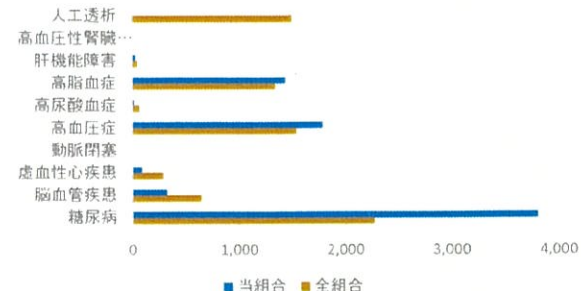
ク 疾病分類別一人当たり医療費(被扶養者)



コ 疾病分類別医療費総額(被扶養者)

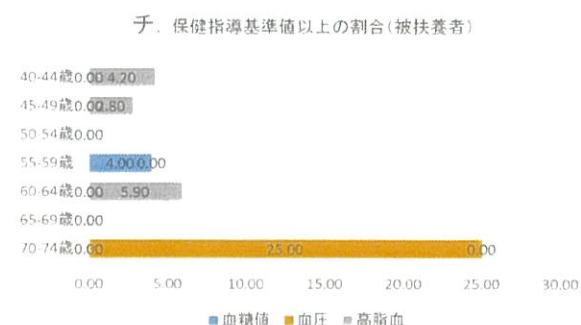
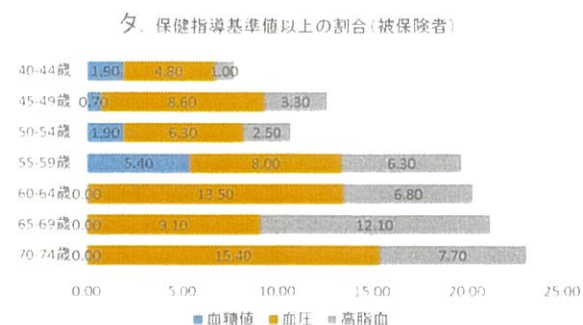
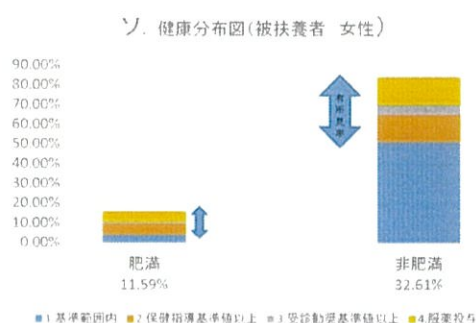
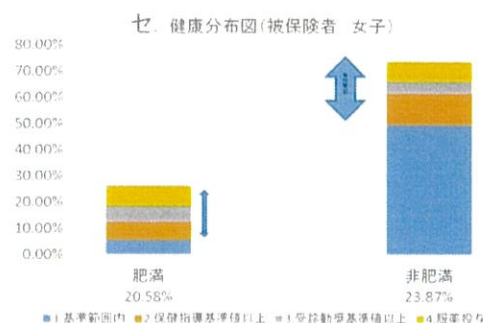
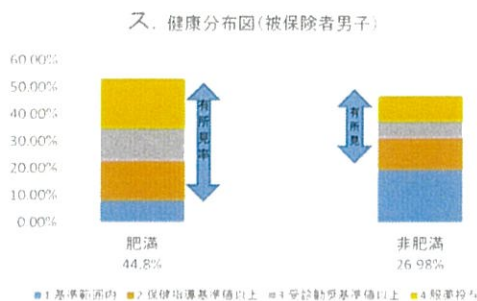


シ 生活習慣病に関わる疾病の1人当たり医療費(被扶養者)



キ、ク ケ、コ	<p>○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の1人当たり医療費が比較的高く、全組合と比較した場合、比較的同じような傾向になっている。</p> <p>○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」が高めに推移している。特に「内分泌・栄養・代謝疾患」が全組合と比較して著しく高い。</p> <p>○疾病分類別医療費総額の分布で見ると、被保険者は「新生物」を初めとする3項目が高く、被扶養者では、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」が顕著に高い。</p> <p>※令和3年年間平均の数値による。</p>
サ、シ	<p>○生活習慣病に関わる1人当たり医療費は、被保険者では糖尿病が最も高く、次いで高血圧症、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病が最も高く、次いで高血圧症、高脂血症の順になっている。</p> <p>○被保険者と被扶養者の1人当たり額を見ると、同じ疾病でも被扶養者の方がはるかに低額である。</p> <p>○全組合との対比では、被保険者の場合は1人当たり額がほぼ拮抗しているが、被扶養者では糖尿病が若干高めになっている。</p>

# STEP 1 - 5 健康分布図等 (令和3年度)



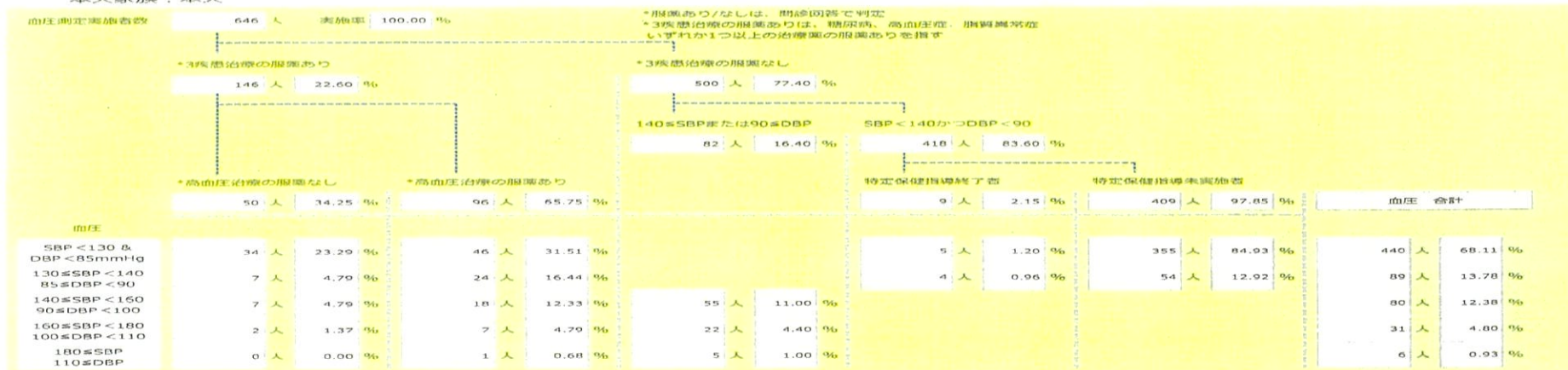
ス、セ	<p>○被保険者の男性については、全体の有所見率は71.78%(肥満者44.80%、非肥満者26.98%)である。</p> <p>○被保険者の女性については、全体の有所見率は44.45%(肥満者20.58%、非肥満者23.87%)である。</p> <p>※有所見を、基準範囲内以外の保健指導基準値以上・受診勧奨基準値以上・服薬投与とした。</p>
ソ	<p>○被扶養者の女性の全体有所見率は44.20%(肥満者11.59%、非肥満者32.61%)である。</p>
タ	<p>○被保険者の血糖値の有所見率は前年度と比較して全体的に減っている。最も高い年齢層は55～59歳である。血圧の有所見率は前年度と比較して増えており、最も高い年齢層は70～74歳である。高脂血の有所見率はほぼ全年齢で高めに推移しているが、その中で65～69歳が比較的高めである。</p>
チ	<p>○被扶養者の血糖値の有所見率は、55～59歳で4.0%であった。血圧の有所見率は70～74歳で25.0%、高脂血の有所見率は40～44歳で4.2%、45～49歳で2.8%、60～64歳で5.9%であった。</p>

# STEP 1 - 6 医療機関の受診状況（令和3年度）

## ツ 脳卒中／心筋梗塞・リスクフローチャート

強制

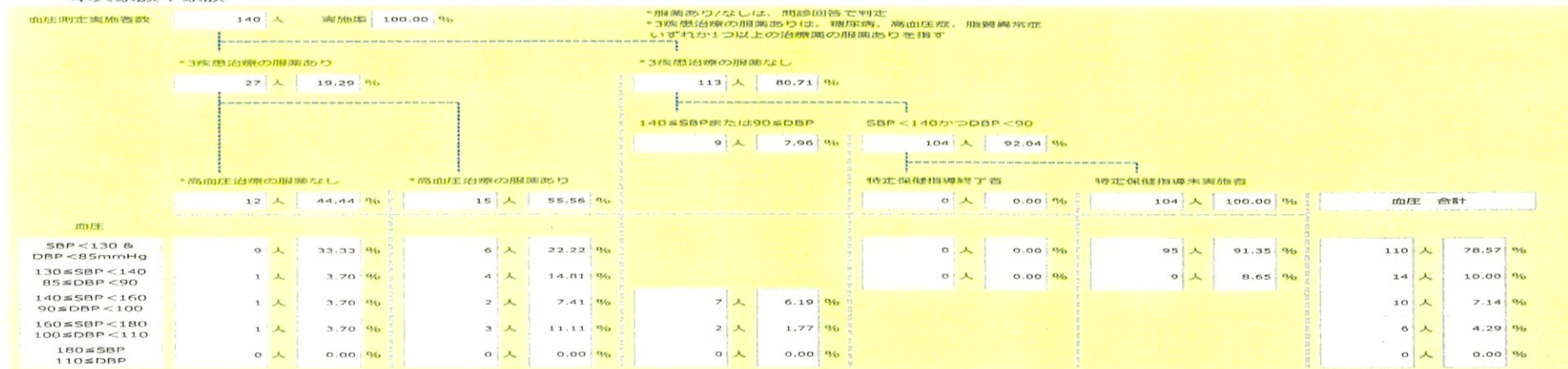
本人家族：本人



## テ 脳卒中／心筋梗塞・リスクフローチャート

強制

本人家族：家族



【早期治療のための受診勧奨/重症化予防の対象者の把握】  
ツ、テ 血圧値が受診勧奨基準値以上でかつ未受診の者(被保険者2名、被扶養者1名)が存在する。高血圧症で内服治療中でかつ血圧値が受診勧奨基準値以上の者(被保険者8名、被扶養者3名)が存在する。

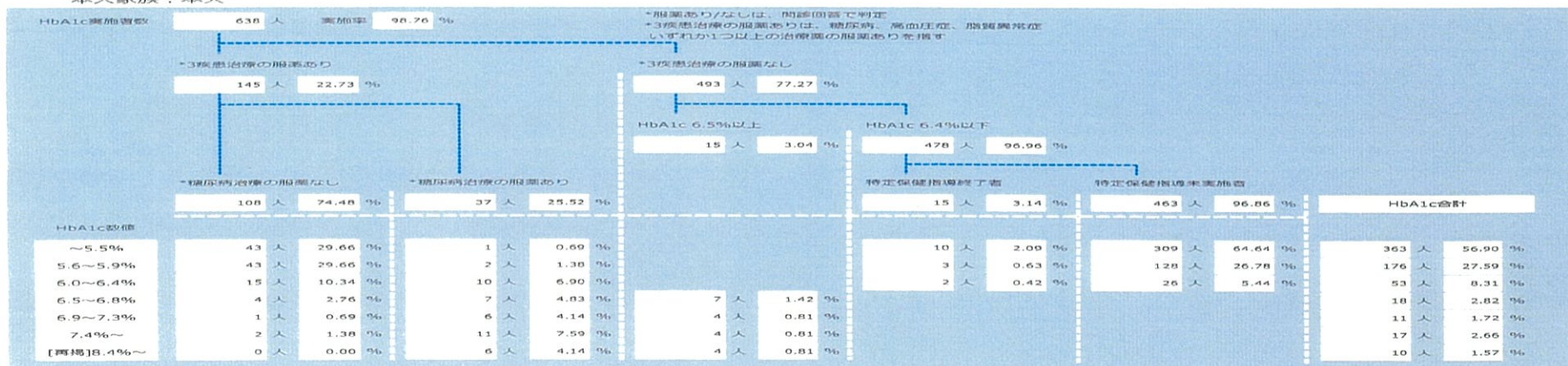


# STEP 1 - 6 医療機関の受診状況（令和3年度）

## ト 糖尿病・リスクフローチャート

強制

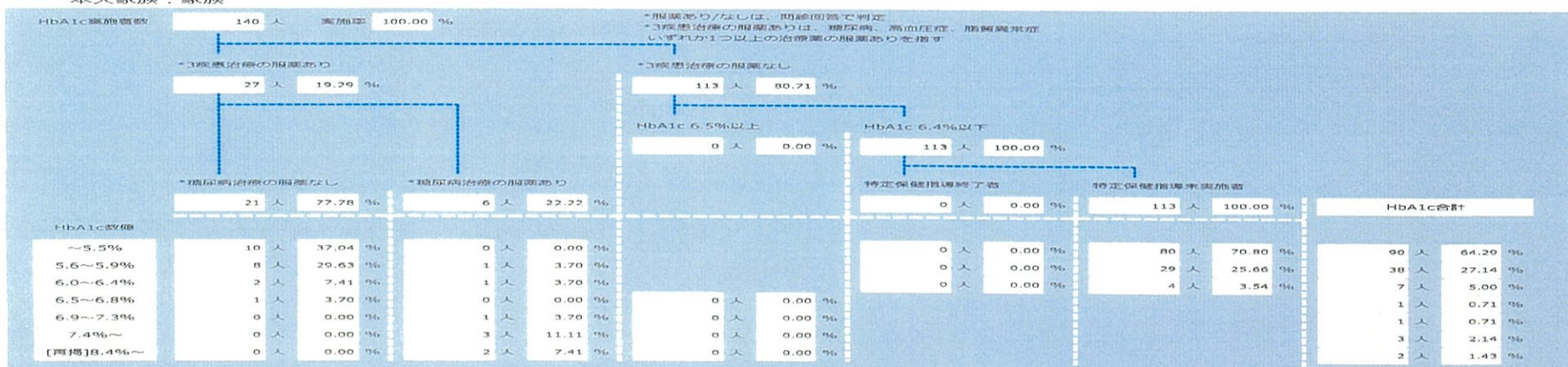
本人家族：本人



## ナ 糖尿病・リスクフローチャート

強制

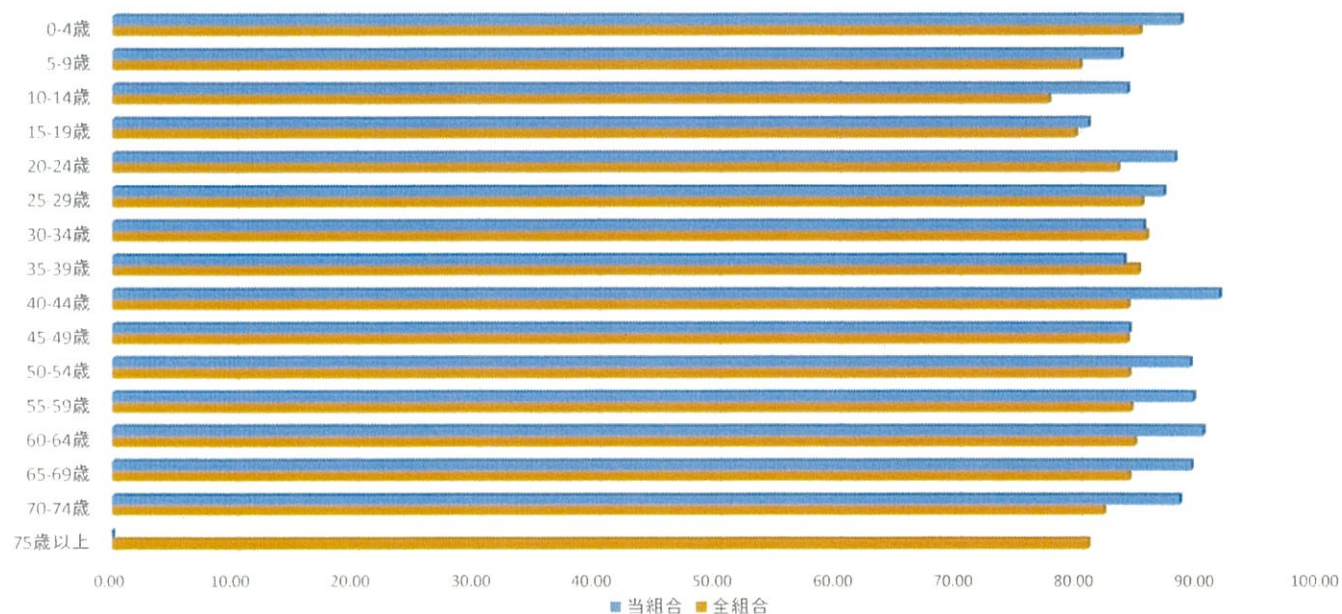
本人家族：家族



ト、ナ 【早期治療のための受診勧奨/重症化予防の対象者の把握】  
血糖値が受診勧奨基準値以上かつ未受診の者(被保険者7名、被扶養者1名)が存在する。糖尿病で内服治療中かつ血糖値が受診勧奨基準値以上の者(被保険者24名、被扶養者4名)が存在する。

## STEP 1 - 7 ジェネリック（後発）医薬品の使用状況（令和4年度）

二. 後発医薬品の使用割合（組合計）



二. 当健康保険組合の後発医薬品の使用割合は87.96%であり、全健保組合83.97%と比べ若干ではあるが、使用割合は高かった。一部年齢層（30代前後半）において使用割合が全体より低くなっている。  
※令和4年1月～12月診療分の数値による。

## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題	対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	<p>【特定健康診査】</p> <p>○被保険者では全年齢層の平均受診率が92.0%と組合全体と比較すると若干であるが低いが、被扶養者の受診率は71.1%と組合全体と比較して高水準なので、全体としては組合全体より高い水準となっている。</p>	<p>➔ ○被保険者では、定年再雇用後の60歳から74歳の間が受診率が高いが、被扶養者では、40歳から69歳までの全体的に受診率が高い。</p> <p>○今後はより一層の事業所担当者との協力体制を作りながら、個人への意識づけ対策を検討する。</p>	
2	ア, ウ	<p>【特定保健指導の実施率】</p> <p>○特定保健指導の実施率は、被保険者及び被扶養者共に指導該当者全員を対象として実施しているが、被保険者が11.8%、被扶養者が0%、全体では11.1%と実施率が低い。</p>	<p>➔ ○被保険者に対しては、事業主からの声かけや促しが比較的效果が見込めることから、積極的に事業主の協力を要請し、特定保健指導への参加を勧奨していく。</p> <p>○被扶養者については、指導該当になる者の絶対数は少ないが、該当者に対しては指導への参加の必要性を認識してもらうための広報やPRの在り方について再検討する共に、指導を受けやすい環境の確保に努める必要がある。</p>	✓
3	イ	<p>一人当たり医療費】</p> <p>○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。</p> <p>○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】</p> <p>○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。</p> <p>○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>	<p>➔ ○循環器疾患、内分泌、栄養及び代謝疾患は生活習慣の改善により予防・改善が十分可能な疾病であり、特定健診を含めた健診データからハイリスク者や予備群を特定し、疾病化させない、また重症化させない対策を検討する必要がある。</p>	✓
4	ウ	<p>【健康分布図】 (被保険者)</p> <p>○被保険者男性全体の有所見率は71.78%（肥満者で44.80%、非肥満者で26.98%）である。</p> <p>○被保険者女性全体の有所見率は44.45%（肥満者で20.58%、非肥満者で23.87%）である。</p>	<p>➔ 男女ともに肥満者の割合が高いことから、保健指導の受診率アップと、体育奨励のウォーキングの参加者のアップに向け検討する。</p>	
5	ウ	<p>【健康分布図】 (被扶養者)</p> <p>○被扶養者の男性については、特定健診の対象者及び実施者がほとんどいないため数値化できないが、女性の有所見率については44.20%（肥満者で11.59%、非肥満者で32.61%）である。</p>	<p>➔ 肥満、非肥満ともに全組合よりも高い数値であり、保健指導の受診率アップが最優先課題である。</p>	

エ, オ

【医療機関の受診状況】

(脳卒中/心疾患リスクフローチャート)

○血圧値が受診勧奨基準値以上でかつ未受診の者(被保険者2名、被扶養者1名)が存在する。

○高血圧症で内服治療中でかつ血圧値が受診勧奨基準値以上の者(被保険者8名、被扶養者3名)が存在する。

(糖尿病リスクフローチャート)

○血糖値が受診勧奨基準値以上でかつ未受診の者(被保険者7名、被扶養者1名)が存在する。

○糖尿病で内服治療中でかつ血糖値が受診勧奨基準値以上の者(被保険者24名、被扶養者4名)が存在する。



○受診勧奨基準値以上で、かつレセプトデータから医療機関への受診が確認できない者に対し、早期治療のための受診勧奨を実施することを検討する。

○既に内服治療中で、かつ受診勧奨基準値以上の者については、循環器疾患、ならびに糖尿病性腎症をテーマに重症化予防対策を講じていく。

6

## 基本情報

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点
1	<p>○当組合は、被保険者数が1,306名で小規模組合に属するが、適用事業所が11社あり、対象となる拠点数は、大小取り混ぜて全国に53カ所と広範囲に点在している。</p> <p>○平均年齢は、男性43.67歳、女性44.85歳であるが、加入者の構成としては、30歳代から50歳代がもっとも多く、次いで60歳代となっており、年々上昇傾向にあり。</p> <p>○健康保険組合及び事業主共に医療専門職を雇用していない。</p>	<p>○年齢層としては、特定健診に該当する年齢を中心とした構成となっており、糖尿・脂質代謝異常や高血圧傾向が見られ、疾病に至らせないことと、すでに疾病としての所見があるものに対しては重症化予防をすること。</p> <p>○年齢の上昇に伴い、筋骨に係る疾病が増える可能性が考えられることから、整形外科等への適切な受診をサポートすること。</p> <p>○全体的に生活習慣病やがん年齢に入ってくることから、当組合の実施する各種健診への積極的な受診を促進するため、ホームページや健康情報誌を活用して意識の啓発や事業所との協力体制を強化すること。</p>

## 保健事業の実施状況

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点
1	<p>○被保険者及び被扶養者の特定健診受診率は全組合に対して高いが、第2期の特定健康診査の目標値を達成するには、被扶養者の受診率のアップが必至である。</p> <p>○特定保健指導の受診率が目標値を達成できていない。 保健指導の受診率が上がっていない。</p> <p>○歯科健診の受診率が、受診対象者の20%代となっており受診率の伸びがない。</p> <p>○組合の規模としてできる最大限の事業を展開している。</p> <p>○機関紙や育児図書、家庭向け健康情報誌等の配布を行っているが、読者の意見や感想など満足度を完璧に把握しきれていない。</p> <p>○ウォーキングを年間通して実施しているが、参加者が限定的である。</p> <p>○健康の保持増進とリフレッシュのために通年利用可能な契約保養所利用補助金と夏期限定の海・山の家補助金を実施しているが、予算の消化率が低い。</p>	<p>○事業所並びに個人に対し、健康意識の啓発と、具体的な健康実態の共有を行い、各自がセルフマネジメントできる状況の確保を目的とした支援を検討する。</p> <p>○健診に対する意識は醸成されつつあるが、一部にまだ健診の重要性(がん検診を含む)を軽視する向きもあることから、年齢層に応じた健康のリスク管理ができる状況を醸成するための媒体の活用や、配布物等の内容、広報・周知の方法等を工夫する。</p> <p>○データに基づいた個別健康啓発の方法等を工夫する。</p> <p>○世代間の相違を意識しながら、健康情報や医療情報の周知方法を工夫する。(紙媒体によるかデジタル媒体によるか)</p> <p>○目で見える保健事業から、参加する保健事業へ事業内容を進化させてゆく。</p>

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

「循環器系疾患」、「消化器系疾患」、「呼吸器系疾患」等の罹患者の減少と生活習慣病の重症化予防を優先し、一人当たり医療費の減少を目的とする。

### 事業全体の目標

- ・特定保健指導の受診率を向上させる。
- ・「循環器系疾患」、「消化器系疾患」、「呼吸器系疾患」の一人当たり医療費を、全組合平均以下に減少させる。

### 事業の一覧

#### 実施環境の整備

##### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	医療費通知
--------	-------

##### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	機関紙の発行
保健指導宣伝	保険制度等に関するパンフレット
保健指導宣伝	育児図書
保健指導宣伝	家庭向け健康誌の配布
保健指導宣伝	ホームページ
疾病予防	主婦健診
疾病予防	成人病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	口腔歯科健診
疾病予防	健康電話相談
疾病予防	心の相談ネットワーク
疾病予防	感染症予防
体育奨励	海の家・山の家
体育奨励	ウォーキング
その他	契約保養所

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢													
アウトプット指標										アウトカム指標									
職場環境の整備																			
加入者への意識づけ																			
保健指導宣伝	2	既存	医療費通知	全て	男女	0~74	加入者全員	1	イ	-	ス	-	外部委託しない	-	継続	-	<p>・医療費の確認及びコスト意識（ジェネリック通知）の啓発</p>	<p>一人当たり医療費] ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】 ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p> <p>【医療機関の受診状況】 (脳卒中/中心疾患リスクフローチャート) ○血圧値が受診勧奨基準値以上でかつ未受診の者（被保険者2名、被扶養者1名）が存在する。 ○高血圧症で内服治療中かつ血圧値が受診勧奨基準値以上の者（被保険者8名、被扶養者3名）が存在する。 (糖尿病リスクフローチャート) ○血糖値が受診勧奨基準値以上でかつ未受診の者（被保険者7名、被扶養者1名）が存在する。 ○糖尿病で内服治療中かつ血糖値が受診勧奨基準値以上の者（被保険者24名、被扶養者4名）が存在する。</p>	
																			<p>通知書の送付【実績値】12回 【目標値】令和4年度：4回-</p>
個別の事業																			
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健康診査	全て	男女	40~74	基準該当者	1	イ,オ	-	ウ	-	外部委託しない	-	-	-	<p>・被保険者受診率93.5% ・被扶養者受診率79.2% ・全体受診率89.7%</p>	<p>特定健康診査の受診率の向上</p>	<p>【特定健康診査】 ○被保険者では全年齢層の平均受診率が92.0%と組合全体と比較すると若干であるが低い、被扶養者の受診率は71.1%と組合全体と比較して高水準なので、全体としては組合全体より高い水準となっている。</p> <p>【健康分布図】 (被保険者) ○被保険者男性全体の有所見率は71.78%（肥満者で44.80%、非肥満者で26.98%）である。 ○被保険者女性全体の有所見率は44.45%（肥満者で20.58%、非肥満者で23.87%）である。</p> <p>【健康分布図】 (被扶養者) ○被扶養者の男性については、特定健診の対象者及び実施者がほとんどいないため数値化できないが、女性の有所見率については44.20%（肥満者で11.59%、非肥満者で32.61%）である。</p>

予算科目	注1) 事業分類	新規/既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標													アウトカム指標				
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40~74	基準該当者	1	イ、オ	-	-	外部委託しない	-	・動機付け支援実施率50.0% ・積極的支援実施率50.0%	・特定保健指導実施率の向上	<p>【特定保健指導の実施率】</p> <p>○特定保健指導の実施率は、被保険者及び被扶養者共に指導該当者全員を対象として実施しているが、被保険者が11.8%、被扶養者が0%、全体では11.1%と実施率が低い。</p> <p>【健康分布図(被保険者)】</p> <p>○被保険者男性全体の有所見率は71.78%(肥満者が44.80%、非肥満者が26.98%)である。</p> <p>○被保険者女性全体の有所見率は44.45%(肥満者が20.58%、非肥満者が23.87%)である。</p> <p>【健康分布図(被扶養者)】</p> <p>○被扶養者の男性については、特定健診の対象者及び実施者がほとんどいないため数値化できないが、女性の有所見率については44.20%(肥満者が11.59%、非肥満者が32.61%)である。</p>	
実施率の向上(【実績値】28.4% 【目標値】令和4年度：42.0%)													メタボリックシンドロームの改善率(【実績値】28.4% 【目標値】令和4年度：42.0%)				
保健指導宣伝	5	既存	機関紙の発行	全て	男女	18~74	加入者全員	1	ス	-	-	外部委託しない	-	-継続	健康情報、当組合情報の発信及び健康意識の啓発。	<p>一人当たり医療費</p> <p>○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。</p> <p>○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】</p> <p>○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。</p> <p>○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>	
定期的な機関誌の発行(【実績値】2回 【目標値】令和4年度：2回)													生活習慣病等の改善のための知識の向上(【実績値】2回 【目標値】令和4年度：2回)				
5	既存	保険制度等に関するパンフレット	全て	男女	18~74	加入者全員	1	ス	-	-	外部委託しない	-	-継続	医療保険制度の周知及び健康情報等の提供	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)		
定期的な情報誌の提供(【実績値】2回 【目標値】令和4年度：2回)													医療保険制度に対する理解の向上(【実績値】2回 【目標値】令和4年度：2回)				
5	既存	育児図書	全て	女性	16~50	被保険者、被扶養者	1	ス	-	-	外部委託しない	-	-継続	出産した被保険者及び被扶養者の育児支援	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)		
定期的な情報誌の提供(【実績値】12回 【目標値】令和4年度：12回)													健康管理への意識の向上(【実績値】12回 【目標値】令和4年度：12回)				
5	既存	家庭向け健康誌の配布	全て	男女	16~74	被扶養者	1	ス	-	-	外部委託しない	-	-継続	家族に対する健康意識及び医療知識の情報提供	<p>一人当たり医療費</p> <p>○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。</p> <p>○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】</p> <p>○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。</p> <p>○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>		
定期的な情報誌の提供(【実績値】6回 【目標値】令和4年度：6回)													健康意識、医療知識の向上(【実績値】6回 【目標値】令和4年度：6回)				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢										
アウトプット指標									アウトカム指標							
5	既存		ホームページ	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-		外部委託しない	-	継続	健康、医療、保険制度全般にわたる広報及び周知	<p>一人当たり医療費】 ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】 ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>
ホームページの利用状況【実績値】1回 【目標値】令和4年度：1回-													ホームページの効果は、効果測定の数値化が不可(アウトカムは設定されていません)			
疾病予防	3	既存	主婦健診	全て	女性	35～74	被扶養者	1	ウ,コ	-		外部委託しない	-	継続	被扶養配偶者の健康管理、疾病予防	<p>一人当たり医療費】 ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】 ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>
受診率【実績値】67.9% 【目標値】令和4年度：73%-													生活習慣病の改善率【実績値】67.9% 【目標値】令和4年度：73%-			
3	既存		成人病健診	全て	男女	30～44	被保険者	1	ウ,コ	-		外部委託しない	-	継続	被保険者の健康管理、疾病予防	<p>一人当たり医療費】 ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】 ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>
受診率【実績値】77.95% 【目標値】令和4年度：83%-													生活習慣病の改善率【実績値】77.95% 【目標値】令和4年度：83%-			



予算科目	注1) 事業分類	新規/既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標													アウトカム指標				
3	既存		人間ドック	全て	男女	45～74	被保険者	1	ウ、コ	-	キ	-	外部委託しない	-継続		被保険者の健康管理、疾病予防	<p>一人当たり医療費]</p> <p>○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。</p> <p>○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費]</p> <p>○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。</p> <p>○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>
受診率(【実績値】85.74% 【目標値】令和4年度：88.0%)													生活習慣病の改善率(【実績値】85.74% 【目標値】令和4年度：88.0%)				
3	既存		口腔歯科健診	全て	男女	18～74	被保険者	1	ウ	-	キ	-	外部委託しない	-継続		被保険者の健康管理、疾病予防	<p>一人当たり医療費]</p> <p>○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。</p> <p>○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費]</p> <p>○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。</p> <p>○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>
受診率(【実績値】29.63% 【目標値】令和4年度：35%)													歯科疾病の改善率(【実績値】29.63% 【目標値】令和4年度：35%)				
6	既存		健康電話相談	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	-	ス	-	外部委託しない	-継続		健康管理、疾病予防に関する相談及び医療、健康情報の提供	<p>一人当たり医療費]</p> <p>○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。</p> <p>○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費]</p> <p>○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。</p> <p>○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>
利用率(【実績値】2件 【目標値】令和4年度：7件)													生活習慣病の改善率(【実績値】2件 【目標値】令和4年度：7件)				

予算科目	注1) 事業分類	期 限 既 存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢										
アウトプット指標									アウトカム指標							
5	既心の相談ネットワーク		全ての心相談ネットワーク	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス		ス		外部委託しない		継続	メンタルヘルスの現況確認及びメンタル問題解決へのサポート	<p>一人当たり医療費】</p> <p>○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。</p> <p>○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】</p> <p>○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。</p> <p>○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>
利用率(【実績値】3人 【目標値】令和4年度：7人)-									生活習慣病の改善率(【実績値】3人 【目標値】令和4年度：7人)-							
3	既存感染症予防		全ての感染症予防	男女	18～74	被保険者	1	ス		ス		外部委託しない		継続	一元的医療費の削減及び家庭、職場感染予防	<p>一人当たり医療費】</p> <p>○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。</p> <p>○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】</p> <p>○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。</p> <p>○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>
利用率(【実績値】281人 【目標値】令和4年度：330人)-									医療機関への受診率(【実績値】281人 【目標値】令和4年度：330人)-							
8	体育奨励		既海の家・山の存家	男女	0～74	加入者全員	1	ス		ス		外部委託しない		継続	健康の保持増進	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
利用率(【実績値】231人 【目標値】令和4年度：280人)-									医療機関への受診率(【実績値】231人 【目標値】令和4年度：280人)-							

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標									アウトカム指標								
5	既存		ウォーキング	全て	男女	18~74	被保険者、被扶養者	1	ア	-	ス	-	外部委託しない	-	継続	健康の保持増進及び疾病予防	<p>一人当たり医療費】 ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】 ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p> <p>【健康分布図】 (被保険者) ○被保険者男性全体の有所見率は71.78%（肥満者で44.80%、非肥満者で26.98%）である。 ○被保険者女性全体の有所見率は44.45%（肥満者で20.58%、非肥満者で23.87%）である。</p> <p>【健康分布図】 (被扶養者) ○被扶養者の男性については、特定健診の対象者及び実施者がほとんどいないため数値化できないが、女性の有所見率については44.20%（肥満者で11.59%、非肥満者で32.61%）である。</p>
年間参加率【実績値】 216人 【目標値】 令和4年度：260人-									医療機関への受診率【実績値】 216人 【目標値】 令和4年度：260人-								
その他	8	既存	契約保養所	全て	男女	0~74	加入者全員	1	ス	-	ス	-	外部委託しない	-	継続	健康の保持増進、保養、リフレッシュ	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
利用率【実績値】 448人 【目標値】 令和4年度：500人-									医療機関への受診率【実績値】 448人 【目標値】 令和4年度：500人-								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 事業名の後に「\*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など） オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施

キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築

ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス/ライブラリーの設置） ス. その他

## STEP 4-1 事業報告

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

#### 加入者への意識づけ

- 1 医療費通知

#### 個別の事業

- 1 特定健康診査
- 2 特定保健指導
- 3 機関紙の発行
- 4 保険制度等に関するパンフレット
- 5 育児図書
- 6 家庭向け健康誌の配布
- 7 ホームページ
- 8 主婦健診
- 9 成人病健診
- 10 人間ドック
- 11 口腔歯科健診
- 12 健康電話相談
- 13 心の相談ネットワーク
- 14 感染症予防
- 15 海の家・山の家
- 16 ウォーキング
- 17 契約保養所

## 【保健事業の基盤】職場環境の整備

## 【保健事業の基盤】加入者への意識づけ

1 事業名		医療費通知					
健康課題との関連	<p>一人当たり医療費】                  ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。                  ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】                  ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。                  ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>						
	<p>【医療機関の受診状況】                  (脳卒中/心疾患リスクフローチャート)                  ○血圧値が受診勧奨基準値以上でかつ未受診の者(被保険者2名、被扶養者1名)が存在する。                  ○高血圧症で内服治療中かつ血圧値が受診勧奨基準値以上の者(被保険者8名、被扶養者3名)が存在する。                  (糖尿病リスクフローチャート)                  ○血糖値が受診勧奨基準値以上でかつ未受診の者(被保険者7名、被扶養者1名)が存在する。                  ○糖尿病で内服治療中かつ血糖値が受診勧奨基準値以上の者(被保険者24名、被扶養者4名)が存在する。</p>						
	分類						
	注1)事業分類	計画 2	実施主体	計画 1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分
	実績 2		実績 1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない						
事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員					
注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画		予算額	-千円	
	実績		実績				
注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画		決算額	-千円	
	実績		実績				

実施計画 (令和4年度)	・継続	
振り返り	<b>実施状況・時期</b>	医療費のお知らせと保険給付金決定通知書を年4回実施。本人・家族分を受診者毎に本人負担額、付加金額等を記載して通知。ジェネリック医薬品利用促進のお知らせ及び案内書、パンフレット、保険証に貼付するシールの送付を年2回実施。3ヶ月で1,000円以上の医療費削減効果が見込まれる場合を想定して、処方された薬剤の内ジェネリックに変更することが可能と思われる薬剤を供述。減額可能であった金額も合わせて軽視し通知。
	<b>成功・推進要因</b>	医療費に対するコスト意識の啓発啓蒙に寄与。ジェネリック医薬品の使用割合は前組合よりも高いが、少しでも使用割合の増加に向けて取り組みが必要。
	<b>課題及び阻害要因</b>	健康の保持増進に対する意識変革や行動変容につながり、医療費全体の削減にも効果が得るような工夫が必要と思われる。今後はジェネリック医薬品利用促進のお知らせの通知回数を増やすか検討。
評価	4. 80%以上	
<b>事業目標</b>		
・医療費の確認及びコスト意識（ジェネリック通知）の啓発		
<b>アウトプット指標</b>	通知書の送付（【平成29年度末の実績値】12回【計画値/実績値】令和4年度：4回/4回 【達成度】80%）-[-]	
<b>アウトカム指標</b>	医療費通知の実施による効果の数値化は不可 (アウトカムは設定されていません)	
外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

## 【個別の事業】

1 事業名		特定健康診査						
健康課題との関連	<p>【特定健康診査】</p> <p>○被保険者では全年齢層の平均受診率が92.0%と組合全体と比較すると若干であるが低いが、被扶養者の受診率は71.1%と組合全体と比較して高水準なので、全体としては組合全体より高い水準となっている。</p>							
	<p>【健康分布図】 (被保険者)</p> <p>○被保険者男性全体の有所見率は71.78% (肥満者が44.80%、非肥満者が26.98%) である。 ○被保険者女性全体の有所見率は44.45% (肥満者が20.58%、非肥満者が23.87%) である。</p>							
	<p>【健康分布図】 (被扶養者)</p> <p>○被扶養者の男性については、特定健診の対象者及び実施者がほとんどいないため数値化できないが、女性の有所見率については44.20% (肥満者で11.59%、非肥満者で32.61%) である。</p>							
分類								
注1)事業分類	計画	3-ア	実施主体	計画	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア		実績				
共同事業	共同事業ではない							
事業の内容								
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者						
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者						
注2)プロセス分類	計画	イ,オ	実施方法	計画		予算額	-千円	
	実績	イ,オ		実績				-
注3)ストラクチャー分類	計画	ウ	実施体制	計画		決算額	-千円	
	実績	ウ		実績				-
実施計画 (令和4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者受診率93.5%</li> <li>被扶養者受診率79.2%</li> <li>全体受診率89.7%</li> </ul>							



振り返り	<b>実施状況・時期</b>	主婦健診、成人病健診、人間ドックともに9月から12月に実施。
	<b>成功・推進要因</b>	被保険者については、事業所担当者と連携を図り、健診該当者リストを送付して受診するよう促してくれている。被扶養者については、健診案内を1ヶ月ほど早めに案内をしている。健診受付代行機関を活用して未受診者対策を実施。
	<b>課題及び阻害要因</b>	通年での健診実施が難しく、期間限定での実施となるため、受診者の偏りがある。今年度については、被保険者・被扶養者ともに受診率の目標値を下回っているため未受診者への対策を強化する必要がある。

評価	4. 80%以上
----	----------

### 事業目標

特定健康診査の受診率の向上

<b>アウトプット指標</b>	受診率の向上（【平成29年度末の実績値】85.3%【計画値/実績値】令和4年度：89.7%/90% 【達成度】90%） [-]
-----------------	--

<b>アウトカム指標</b>	メタボリックシンドロームの改善率（【平成29年度末の実績値】85.3%【計画値/実績値】令和4年度：89.7%/80% 【達成度】80%）-[-]
----------------	---

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

## 2 事業名 特定保健指導

健康課題との関連	【特定保健指導の実施率】 ○特定保健指導の実施率は、被保険者及び被扶養者共に指導該当者全員を対象として実施しているが、被保険者が11.8%、被扶養者が0%、全体では11.1%と実施率が低い。
	【健康分布図】 (被保険者) ○被保険者男性全体の有所見率は71.78%（肥満者が44.80%、非肥満者が26.98%）である。 ○被保険者女性全体の有所見率は44.45%（肥満者が20.58%、非肥満者が23.87%）である。
	【健康分布図】 (被扶養者) ○被扶養者の男性については、特定健診の対象者及び実施者がほとんどいないため数値化できないが、女性の有所見率については44.20%（肥満者が11.59%、非肥満者が32.61%）である。

### 分類

注1)事業分類	計画	4-ア,4-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存(法定)
---------	----	---------	------	----	---------	------	----------	---------	--------

	実績	4-ア, 4-カ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	40～74	対象者分類	基準該当者
	実績	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	40～74	対象者分類	基準該当者
注2)プロセス分類	計画	イ,オ	実施方法	計画	-	予算額	-	千円	
	実績	イ,オ	実施方法	実績	-	予算額	-	千円	
注3)ストラクチャー分類	計画	ウ	実施体制	計画	-	決算額	-	千円	
	実績	ウ	実施体制	実績	-	決算額	-	千円	
実施計画 (令和4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動機付け支援実施率50.0%</li> <li>・積極的支援実施率50.0%</li> </ul>								
振り返り	実施状況・時期	人間ドック、成人病健診、主婦健診での特定健診時に保健指導対象者に対し、指導担当保健師より指導を実施。							
	成功・推進要因	人間ドック健診時には、当日に初回面談を実施できる体制となっている。活動計画を用いて指導を実施。							
	課題及び阻害要因	人間ドック以外は、初回面談が後日になってしまうためどうしても指導できない者が多くなっている。被扶養者の保健指導への意識改革が必要。							
評価	1. 39%以下								
事業目標									
・特定保健指導実施率の向上									
アウトプット指標	実施率の向上（【平成29年度末の実績値】28.4%【計画値/実績値】令和4年度：42.0%/11.1%【達成度】10%）-[-]								
アウトカム指標	メタボリックシンドロームの改善率（【平成29年度末の実績値】28.4%【計画値/実績値】令和4年度：42.0%/11.1%【達成度】10%）-[-]								
外部委託先	計画	外部委託しない							
	実績	委託の有無	外部委託しない						
3 事業名	機関紙の発行								

健康課題との関連

一人当たり医療費】  
 ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。  
 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。

【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】  
 ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。  
 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。

分類

注1)事業分類	計画	5-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	5-キ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 18～74	対象者分類 加入者全員
	実績	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 18～74	対象者分類 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和4年度) 継続

振り返り	実施状況・時期	年2回発行 (4月・9月)
	成功・推進要因	健康保険組合の財政及び事業の周知に寄与。
	課題及び阻害要因	健康保険組合の状況を伝える情報誌として、今以上に読ませる工夫が必要。

評価 5. 100%

事業目標

健康情報、当組合情報の発信及び健康意識の啓発。

**アウトプット指標** 定期的な機関誌の発行（【平成29年度末の実績値】2回【計画値/実績値】令和4年度：2回/2回 【達成度】100%）  
[-]

**アウトカム指標** 生活習慣病等の改善のための知識の向上（【平成29年度末の実績値】2回【計画値/実績値】令和4年度：2回/2回 【達成度】100%）  
[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

#### 4 事業名 保険制度等に関するパンフレット

健康課題との関連 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

#### 分類

注1)事業分類	計画	5-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	5-キ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

#### 事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和4年度)	継続
振り返り	<b>実施状況・時期</b> 4月に事業所を經由して配布。
	<b>成功・推進要因</b> 入社時における基礎情報の提供に寄与。
	<b>課題及び阻害要因</b> より良い情報を提供できる体制が必要。
評価	5. 100%

### 事業目標

医療保険制度の周知及び健康情報等の提供

**アウトプット指標** 定期的な情報誌の提供（【平成29年度末の実績値】2回【計画値/実績値】令和4年度：2回/1回 【達成度】100%）-[-]

**アウトカム指標** 医療保険制度に対する理解の向上（【平成29年度末の実績値】2回【計画値/実績値】令和4年度：2回/1回 【達成度】100%）  
[-]

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

### 5 事業名 育児図書

健康課題との関連 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

#### 分類

注1)事業分類	計画	5-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	5-キ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

#### 事業の内容

対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 女性 <b>年齢</b> 16～50 <b>対象者分類</b> 被保険者,被扶養者				
	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 女性 <b>年齢</b> 16～50 <b>対象者分類</b> 被保険者,被扶養者				
注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	実施方法	実績	-		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和4年度) 継続

振り返り

**実施状況・時期** 毎月、自宅へ郵送。

**成功・推進要因** 乳幼児期の育児の不安解消に寄与。  
令和3年度実績5名

**課題及び阻害要因** 赤ちゃん和妈妈社より読者の声の報告を受けるもおおむね好評である。

評価 5. 100%

事業目標

出産した被保険者及び被扶養者の育児支援

**アウトプット指標** 定期的な情報誌の提供 (【平成29年度末の実績値】12回【計画値/実績値】令和4年度：12回/12回 【達成度】100%) -[-]

**アウトカム指標** 健康管理への意識の向上 (【平成29年度末の実績値】12回【計画値/実績値】令和4年度：12回/12回 【達成度】100%) -[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

6 事業名 家庭向け健康誌の配布

健康課題との関連

一人当たり医療費】  
○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。  
○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。

【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】  
○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。  
○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。

分類

注1)事業分類	計画	5-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	5-キ		実績	1. 健保組合				

共同事業	共同事業ではない					
事業の内容						
対象者	計画	対象事業所 全て		性別 男女	年齢 16～74	対象者分類 被扶養者
	実績	対象事業所 全て		性別 男女	年齢 16～74	対象者分類 被扶養者
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	-	予算額 -千円
	実績	ス		実績	-	
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額 -千円
	実績	ス		実績	-	
実施計画(令和4年度)	継続					
振り返り	実施状況・時期		年6回(隔月)、被扶養者あてに自宅に郵送。			
	成功・推進要因		家族に対して、健康意識や医療に対する適切な知識等を提供。			
	課題及び阻害要因		冊子の内容等の感想や意見などのアンケート等も必要。			
評価	5. 100%					
事業目標						
家族に対する健康意識及び医療知識の情報提供						
アウトプット指標		定期的な情報誌の提供 (【平成29年度末の実績値】6回【計画値/実績値】令和4年度:6回/6回 【達成度】100%) [-]				
アウトカム指標		健康意識、医療知識の向上 (【平成29年度末の実績値】6回【計画値/実績値】令和4年度:6回/6回 【達成度】100%) -[-]				
外部委託先	計画	外部委託しない				
	実績	委託の有無		外部委託しない		
7事業名	ホームページ					

健康課題との関連

【一人当たり医療費】  
 ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。  
 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。

【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】  
 ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。  
 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。

分類

注1)事業分類	計画	5-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	5-キ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和4年度) 継続

振り返り

**実施状況・時期** 常時閲覧可能ではあるが、パスワードの入力が必要である。  
**成功・推進要因** 基本情報の広報・周知に寄与。  
**課題及び阻害要因** 加入者に対してホームページへのアクセスを促進するための工夫が必要。

評価 4. 80%以上

事業目標



**アウトプット指標** ホームページの利用状況（【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和4年度：1回/1回 【達成度】80%）-[-]

**アウトカム指標** ホームページの効果は、効果測定の数値化が不可  
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**8 事業名** **主婦健診**

**健康課題との関連**

一人当たり医療費】  
○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。  
○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。

【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】  
○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。  
○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。

**分類**

注1)事業分類	計画	3-ア,3-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ア,3-イ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

**事業の内容**

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 35～74 対象者分類 被扶養者			
	実績	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 35～74 対象者分類 被扶養者			

注2)プロセス分類	計画	ウ,コ	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	ウ,コ		実績	-		

注3)ストラクチャー分類	計画	キ	実施体制	計画	-	決算額	-千円
--------------	----	---	------	----	---	-----	-----

	実績	実績			
実施計画 (令和4年度)	継続				
振り返り	<b>実施状況・時期</b>	毎年9月から12月まで施設健診スタイルで実施。			
	<b>成功・推進要因</b>	主要都市に直接契約健診機関を設けて自己負担無しで実施。直接契約がない地方では、健診受付代行業者を通じて実施。また、未受診対策として、健診受付代行業者より再案内を実施。			
	<b>課題及び阻害要因</b>	特定健康診査も兼ねているため、受診率向上のための工夫が必要。			
評価	3. 60%以上				
事業目標					
被扶養配偶者の健康管理、疾病予防					
<b>アウトプット指標</b>	受診率（【平成29年度末の実績値】67.9%【計画値/実績値】令和4年度：73%/72.8% 【達成度】80%）-[-]				
<b>アウトカム指標</b>	生活習慣病の改善率（【平成29年度末の実績値】67.9%【計画値/実績値】令和4年度：73%/72.8% 【達成度】60%）-[-]				
外部委託先	計画	外部委託しない			
	実績	委託の有無	外部委託しない		

9 事業名	成人病健診								
健康課題との関連	一人当たり医療費] ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。								
	【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費] ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。								
	分類								
注1)事業分類	計画	3-ア,3-イ,3-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ア,3-イ,3-ウ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								

事業の内容					
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～44 対象者分類 被保険者			
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～44 対象者分類 被保険者			
注2)プロセス分類	計画	ウ,コ	実施方法	計画	予算額
	実績	ウ,コ		実績	
注3)ストラクチャー分類	計画	キ	実施体制	計画	決算額
	実績	キ		実績	
実施計画 (令和4年度)	継続				
振り返り	実施状況・時期	毎年9月から12月の期間で施設健診スタイルで実施。			
	成功・推進要因	健診費用については健保組合が全額負担。直接契約の無い地方では、健診受付代行業者を通じて実施。			
	課題及び阻害要因	健診実施期間に制限があり、未受診者に偏りがある。			
評価	4. 80%以上				
事業目標					
被保険者の健康管理、疾病予防					
アウトプット指標	受診率（【平成29年度末の実績値】 77.95%【計画値/実績値】 令和4年度：83%/82.6% 【達成度】 90%） -[-]				
アウトカム指標	生活習慣病の改善率（【平成29年度末の実績値】 77.95%【計画値/実績値】 令和4年度：83%/82.6% 【達成度】 70%） -[-]				
外部委託先	計画	外部委託しない			
	実績	委託の有無	外部委託しない		

10 事業名 人間ドック

健康課題との関連	<p>一人当たり医療費】  ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。  ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。</p> <p>【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】  ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。  ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。</p>							
分類								
注1)事業分類	計画 3-ア,3-イ,3-ウ	実施主体	計画 1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存	
	実績 3-ア,3-イ,3-ウ		実績 1. 健保組合					
共同事業	共同事業ではない							
事業の内容								
対象者	計画 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 45～74 対象者分類 被保険者							
	実績 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 45～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画 ウ,コ	実施方法	計画		予算額		-千円	
	実績 ウ,コ		実績					
注3)ストラクチャー分類	計画 キ	実施体制	計画		決算額		-千円	
	実績 キ		実績					
実施計画 (令和4年度)	継続							
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 毎年9月~12月の期間に施設健診スタイルで実施。</p> <p><b>成功・推進要因</b> 健診費用等については健保組合が全額負担。  直接契約の無い地方では、健診受付代行業者を通じて実施。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> 高受診率ではあるが健診実施期間に制限があり、未受診者に偏りがある。</p>							
評価	4. 80%以上							
事業目標								

被保険者の健康管理、疾病予防

**アウトプット指標** 受診率（【平成29年度末の実績値】85.74%【計画値/実績値】令和4年度：88.0%/94.3% 【達成度】90%）-[-]

**アウトカム指標** 生活習慣病の改善率（【平成29年度末の実績値】85.74%【計画値/実績値】令和4年度：88.0%/94.3% 【達成度】70%）-[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

11 事業名 **口腔歯科健診**

**健康課題との関連**

一人当たり医療費】  
 ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。  
 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。

【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】  
 ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。  
 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。

分類

注1)事業分類	計画	3-工	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-工		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者			
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者			

注2)プロセス分類	計画	ウ	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	ウ		実績	-		

注3)ストラクチャー分類	計画	キ	実施体制	計画	-	決算額	-千円
--------------	----	---	------	----	---	-----	-----

	実績	実績
実施計画 (令和4年度)	継続	
振り返り	実施状況・時期	毎年2月に実施。東京エリアは巡回による集団健診形式だが、地方は開業医との契約により施設健診スタイルで実施。
	成功・推進要因	歯科医療費が保険給付に占める割合は低くなってはきているが、年によってばらつきがある。
	課題及び阻害要因	歯科受診中の者は、ほとんど健診を受診しないため、大幅な増加は見込めないが、歯の健康についての意識を持ってもらうための工夫が必要。
評価	3. 60%以上	

事業目標  
被保険者の健康管理、疾病予防

アウトプット指標 受診率（【平成29年度末の実績値】29.63%【計画値/実績値】令和4年度：35%/23.3% 【達成度】80%）-[-]

アウトカム指標 歯科疾病の改善率（【平成29年度末の実績値】29.63%【計画値/実績値】令和4年度：35%/23.3% 【達成度】50%）-[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

## 12 事業名 健康電話相談

健康課題との関連

一人当たり医療費】  
○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。  
○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。

【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】  
○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。  
○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。

### 分類

注1)事業分類	計画	6	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	6		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員			
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員			
注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	予算額	-千円
	実績		実績		
注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	決算額	-千円
	実績		実績		
実施計画 (令和4年度)	継続				
振り返り	実施状況・時期	通年で利用可能。専門職と直接相談できる窓口を設けている。			
	成功・推進要因	利用者が直接電話にてカウンセラー・ドクター・相談員と相談できて、個人情報は漏れないように管理されている。			
	課題及び阻害要因	加入員に対して、さらに周知を図り利用促進を進める必要がある。			
評価	3. 60%以上				
事業目標	健康管理、疾病予防に関する相談及び医療、健康情報の提供				
アウトプット指標	利用率（【平成29年度末の実績値】2件【計画値/実績値】令和4年度：7件/2件 【達成度】60%）-[-]				
アウトカム指標	生活習慣病の改善率（【平成29年度末の実績値】2件【計画値/実績値】令和4年度：7件/2件 【達成度】60%）-[-]				
外部委託先	計画	外部委託しない			
	実績	委託の有無	外部委託しない		
13 事業名	心の相談ネットワーク				

健康課題との関連

一人当たり医療費】  
 ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。  
 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。

【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】  
 ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。  
 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。

分類

注1)事業分類	計画	5-工	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	5-工		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員					

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	ス		実績	-		
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和4年度) 継続

振り返り	実施状況・時期	電話等によるメンタルヘルスの相談。必要に応じて面談カウンセリングや専門医療機関の紹介を行う。一部利用者負担あり。
	成功・推進要因	利用者に気軽に利用してもらうため電話相談は無料。面談については2回までは無料。5回を限度としてカウンセリングを実施。それ以降は専門医療機関を紹介。
	課題及び阻害要因	近年、メンタルでの休職が増加している。加入者に対して利用等の周知が必要。

評価 3. 60%以上

事業目標



**アウトプット指標** 利用率（【平成29年度末の実績値】3人【計画値/実績値】令和4年度：7人/3人 【達成度】60%）-[-]

**アウトカム指標** 生活習慣病の改善率（【平成29年度末の実績値】3人【計画値/実績値】令和4年度：7人/3人 【達成度】60%）-[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**14 事業名 感染症予防**

**健康課題との関連**

一人当たり医療費】  
 ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。  
 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。

【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】  
 ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。  
 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。

<b>分類</b>									
注1)事業分類	計画	3-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-カ		実績	1. 健保組合				

**共同事業** 共同事業ではない

**事業の内容**

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者					

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和4年度) 継続

振り返り

**実施状況・時期** 毎年11月前後に、希望者に対して当健保組合指定の医療機関にて、インフルエンザ予防接種を実施。一部、費用の負担あり。

**成功・推進要因** 当健保組合指定の医療機関にて、インフルエンザ予防接種料金の内、2,000円相当を健保組合が負担し、差額分を被保険者が負担する形式で実施。

**課題及び阻害要因** 年によって、ワクチン不足があり必ずしも接種できるとは限らない。

評価 3. 60%以上

事業目標

一元的医療費の削減及び家庭、職場感染予防

**アウトプット指標** 利用率（【平成29年度末の実績値】281人【計画値/実績値】令和4年度：330人/261人 【達成度】60%）-[-]

**アウトカム指標** 医療機関への受診率（【平成29年度末の実績値】281人【計画値/実績値】令和4年度：330人/261人 【達成度】60%）-[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

15 事業名 海の家・山の家

健康課題との関連 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

分類

注1)事業分類	計画	8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	既存
	実績	8		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者

計画 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 0～74 **対象者分類** 加入者全員

実績 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 0～74 **対象者分類** 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	-	予算額	-千円
-----------	----	---	------	----	---	-----	-----

	実績	ス		実績	-		
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和4年度) 継続

振り返り

**実施状況・時期** 毎年、7月15日から8月31日の間に、保養・健康増進のため、一般の保養施設等を利用した場合に利用補助金を支給。期間中2回まで。

**成功・推進要因** 夏場の健康保持増進、リフレッシュに寄与。

**課題及び阻害要因** 子供連れの利用が減少しており、利用促進に工夫が必要。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で利用者が減少した。

評価 3. 60%以上

### 事業目標

健康の保持増進

**アウトプット指標** 利用率（【平成29年度末の実績値】231人【計画値/実績値】令和4年度：280人/130人 【達成度】60%）-[-]

**アウトカム指標** 医療機関への受診率（【平成29年度末の実績値】231人【計画値/実績値】令和4年度：280人/130人 【達成度】60%）-[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

### 16 事業名 ウォーキング

健康課題との関連

一人当たり医療費】  
 ○被保険者では、「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健康保険組合と比べてほぼ同様である。  
 ○被扶養者については、「内分泌・栄養・代謝疾患」「呼吸器系疾患」の順に一人当たりの医療費が高く、全健保組合と比べても高い。

【生活習慣病に関わる疾病一人当たり医療費】  
 ○生活習慣病に関わる一人当たり医療費は、被保険者では、高血圧症、糖尿病、高脂血症の順になっている。被扶養者では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順になっている。  
 ○被保険者については、いずれの分類も組合全体とほぼ同様であるが、被扶養者については、いずれの分類も組合全体より若干ではあるが、一人当たり医療費が、高くなっている。

---

【健康分布図】  
 (被保険者)  
 ○被保険者男性全体の有所見率は71.78% (肥満者で44.80%、非肥満者で26.98%) である。  
 ○被保険者女性全体の有所見率は44.45% (肥満者で20.58%、非肥満者で23.87%) である。

---

【健康分布図】  
 (被扶養者)  
 ○被扶養者の男性については、特定健診の対象者及び実施者がほとんどいないため数値化できないが、女性の有所見率については44.20% (肥満者で11.59%、非肥満者で32.61%) である。

分類

注1)事業分類	計画	5-1	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	既存
	実績	5-1		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 18～74	対象者分類 被保険者,被扶養者
	実績	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 18～74	対象者分類 被保険者,被扶養者

注2)プロセス分類	計画	ア	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	ア		実績	-		
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和4年度) 継続

振り返り	<b>実施状況・時期</b>	スマートフォンを利用して、通年でウォーキングを実施。
	<b>成功・推進要因</b>	ウォーキングの管理が手元のスマートフォンのできるので利便性がよい。歩いた歩数により、ポイントが付与される形式でインセンティブを実施。
	<b>課題及び阻害要因</b>	オフィスへのスマートフォン持込禁止の事業所もあり、今後はその対応が必要。

評価	3. 60%以上
----	----------

**事業目標**

健康の保持増進及び疾病予防

**アウトプット指標** 年間参加率（【平成29年度末の実績値】216人【計画値/実績値】令和4年度：260人/220人 【達成度】60%）-[-]

**アウトカム指標** 医療機関への受診率（【平成29年度末の実績値】216人【計画値/実績値】令和4年度：260人/220人 【達成度】60%）-[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

**17 事業名 契約保養所**

健康課題との関連 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

**分類**

注1)事業分類	計画	8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績	8		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

**事業の内容**

対象者	計画	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 0～74 <b>対象者分類</b> 加入者全員			
	実績	<b>対象事業所</b> 全て <b>性別</b> 男女 <b>年齢</b> 0～74 <b>対象者分類</b> 加入者全員			

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

注3)ストラクチャー分類	計画 実績	実施体制	計画 実績	決算額	-千円
実施計画 (令和4年度)	継続				
振り返り	<p><b>実施状況・時期</b> 被保険者・被扶養者を対象に、当健保組合が指定する保養施設等を健康の保持増進、保養やリフレッシュを目的として宿泊した場合、通年で2泊まで補助金を支給。</p> <p><b>成功・推進要因</b> 契約保養所の補助金制度は加入者に浸透しており、利用は例年で安定している。健康の保持増進、保養やリフレッシュといった目的に寄与。</p> <p><b>課題及び阻害要因</b> コンスタントに利用してもらえるように工夫が必要。前年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で利用者が減少したが、令和4年度は戻りつつある。</p>				
評価	3. 60%以上				
事業目標	健康の保持増進、保養、リフレッシュ				
アウトプット指標	利用率（【平成29年度末の実績値】448人【計画値/実績値】令和4年度：500人/400人 【達成度】70%）-[-]				
アウトカム指標	医療機関への受診率（【平成29年度末の実績値】448人【計画値/実績値】令和4年度：500人/400人 【達成度】50%）-[-]				
外部委託先	計画 実績	外部委託しない			
	実績	委託の有無 外部委託しない			

- 注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
- 注2) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など）  
オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）  
ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他
- 注3) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築  
キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理）  
シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス/ライブラリーの設置） ス. その他